



展覧会概要

中欧の芸術大国チェコでは、伝統的な木のおもちゃの簡潔で象徴的な造形が、近代以降のアーティストたちにとって創作の源泉となってきました。戦後、工業化の進展により合成樹脂やプラスチックなどの新素材が導入されると、おもちゃの表現やあり方にも大きな変化が生まれます。こうした動きのなかで、工業デザイナーとしてファトラ社などで活躍したのが、リブシェ・ニコロヴァー(1934-1981)です。ゴム製のおもちゃ、空気で膨らむおもちゃ、音の出るおもちゃなど、新素材の柔軟性や弾力性を活かした作品は、美的感覚と遊び心を兼ね備え、チェコ・デザインを代表する存在となっています。

本展では、ニコロヴァーのおもちゃや試作品を通して、プラスチックが「夢の素材」として捉えられていた時代を振り返ります。あわせて、ラジスラフ・ストナル(1897-1976)、デザインブランド〈tititi〉を手がけるテレザ・タリホヴァー(1977-)をはじめとする作家たちの作品とディアコニエ社による木のおもちゃも紹介し、素材の違いによる表現の多様性にも目を向けます。さらに、ニコロヴァーの息子である現代美術作家ペトル・ニクル(1960-)が手がけた人形劇のパペットや絵本などを通して、その創造的世界の広がりにも迫ります。

会場では、ニコロヴァーのおもちゃに実際に触れることのできるコーナーも設けます。世代を超えて受け継がれてきた、チェコにおける子どものためのアートの世界を、ぜひお楽しみください。

【展覧会名】「チェコのおもちゃとデザイン

ーニコロヴァーのプラスチック・トイから現代作家のアートまでー

【会 期】 2026年7月18日(土)～9月23日(水・祝)

休館日:月曜日(7月20日、8月10日、9月21日を除く)、7月21日(火)

開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【会 場】 群馬県立館林美術館 展示室2～4

【観 覧 料】 一般850円(680円)、大高生420円(330円)

* ()内は20名以上の団体割引料金

* 中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方と

その介護者1名は無料

* 群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引

【主 催】 群馬県立館林美術館

【後 援】 チェコ共和国大使館、チェコセンター東京

【企画協力】 ペトル・ニクル、チェコ国立プラハ工芸美術館

【企画制作】 株式会社イデッフ



本展の見どころ

1. チェコを代表するデザイナー、リブシェ・ニクロヴァーの国内初の展覧会

本展は、ニクロヴァーをまとめた形で国内で初めて紹介する展覧会です。ファトラ社で生み出されたゴム製のおもちゃをはじめ、空気で膨らむおもちゃ、音の鳴るおもちゃなど、プラスチックという「夢の素材」の可能性を切り拓いた名作と試作品を一堂に展示。デザインと遊び心が融合した数々の作品をご覧ください。

2. 木のおもちゃから現代作家のアートまで、多彩な作品を紹介

ニクロヴァーの作品に加え、伝統的な木のおもちゃから近代のプラスチック製品、さらに現代作家のアートに至るまで、チェコの豊かな創作文化の流れも紹介します。チェコにおける「子どものためのアート」の発展と表現の広がりを一望できるのも、本展の魅力です。

3. ニクロヴァーの膨らむおもちゃに触れて楽しめるコーナーも！

会場では、ニクロヴァーの膨らむおもちゃに実際に触れられるコーナーを設置。一緒に写真撮影ができるフォトスポットとしてお楽しみいただけます。目で見るだけでなく、手で触れて体感することで、ニクロヴァーのデザインの魅力をより深く味わっていただけます。

広報用画像



1. (左から)リブシェ・ニクロヴァー、ファトラ社《ライオンのアコーディオン》1964年、《ネコのアコーディオン》1963年、《キツネのアコーディオン》1964年



2. リブシェ・ニクロヴァー、ファトラ社《ネコのアコーディオン》1963年



3. リブシェ・ニクロヴァー、ファトラ社《膨らむおもちゃ「ネコのブラックキー」》1969年



4. リブシェ・ニクロヴァー、ファトラ社《膨らむおもちゃ「子ネコ」》1980年



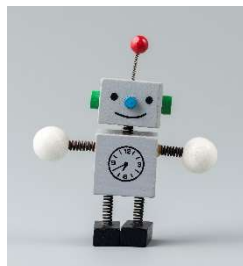
5. リブシェ・ニクロヴァー、ファトラ社《膨らむおもちゃ「水牛のホウコラ」》1985年



6. ラジスラフ・ストナル《ゾウ(国立家内工業教育研究所のためのデザイン)》1930年頃



7. ヤナ・ガドゥレツォヴァー、イジー・ユレツカ、グモテックス社《煙突掃除人》1973年



8. トファ社《ロボット・エーミル》1960年代



9. テレザ・タリホヴァー〈tititi〉《木製指人形「エミール・フィラ」》2024年

会期中のイベント ※詳細・申込方法は当館ホームページをご覧ください。

◎学芸員によるギャラリートーク

展覧会担当学芸員による解説を聞きながら、作品を鑑賞します。

7月29日(水)、9月5日(土) 各日 14:00 ~ (約40分) [申込不要・要観覧券]

◎ワークショップ「つくって あそべる ゆびにんぎょう」

木とはぎれを使って、オリジナルの指人形をつくります。

8月30日(日) 午後1時~3時30分 [要事前申込(先着100名)・無料]

協力:群馬県立女子大学 奥西ゼミ

◎みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」 講師:鷲野佐知子【わしのさちこ】(版画家)

講師の先生が彫った版木を使って、多色摺りの木版画を制作します。

7月23日、7月30日、8月20日、8月27日(全て木曜日) 各日午後1時30分~4時

[申込不要・参加費100円] *自由な時間に参加できます

◎たてび☆キッズウォーク

ワークシートを使ったクイズやゲームをしながら、自分のペースで自由に展示室を探検します。

8月1日(土)、8月22日(土) 各日午前10時~11時30分、午後1時~2時30分

[申込不要・中学生以下対象・無料] *自由な時間に参加できます *参加記念品つき

◎ポンポン・ツアー

当館コレクションのフランソワ・ポンポンの彫刻や資料について学芸員が解説。その知られざる秘密に迫ります。

8月23日(日) 14:00~14:30 [申込不要] *参加記念品つき

【掲載用お問合せ先】 群馬県立館林美術館 〒374-0076 群馬県館林市日向町2003
TEL.0276-72-8188(代表)/8190(学芸員室直通) FAX.0276-72-8338
tatebi@pref.gunma.lg.jp <https://gmat.pref.gunma.jp/>
[展覧会担当] 学芸員 野澤広紀
[広報担当] 学芸員 松下和美
教育普及員 齋藤久美子

※広報用画像をご希望の場合は、tatebi@pref.gunma.lg.jpまでお問い合わせください。